

月刊百科 11 1990 no. 337



- ◆ 芸能の風土・芸能民の歴史
- ◆ 墓盗びとの群れ
- ◆ 中世イタリアの医師と治療費へ上
- ◆ エラノス——魂の営み
- ◆ 家庭に入ったアメノウズメ
- ◆ 南太平洋の政治の季節

芸能の風土・ 芸能民の歴史

座談会

地域差と東西文化論

編集部 このたび、網野・小沢両先生をはじめとする先生方に編集委員をお願いして、日本ビクターと平凡社との共同企画「音と映像と文字による大系 日本 歴史と芸能」がスタートしました。この企画は、本とビデオが対等の立場で協力して、社会の変貌の中で大きく姿を変えつつある各地の芸能や祭儀を集成し、さらに私たちが属している文化の特質とその歴史を、広い意味での「芸能」を通じて明らかにしようとするものです。

去年から本格化した撮影に同行してあちこちに行きますと、とにかくまあ、いろんな所でいろんなことをやっているんだなあというのが、まず最初の驚きでした。文化財として保護されているものももちろんありますが、なかには中間テストを控えた高校生が一所懸命に台詞を覚えてやっていると、華

「芸能」と「芸能民」を歴史の中に再発見した歴史家、各地の埋もれた芸能を再発掘した俳優、そしてそれを記録したプロデューサーが語る、日本の「歴史と芸能」

麗な踊りを見せてくれた娘さんが「来年は東京に就職してしまうから、もう踊らない」という話も聞きました。

今そういうことが起こっているんですね。日本の社会が均質化したといわれ、どこでも同じようになったとも見えながら、この日本列島の自分の知らない所で、いろんなことをやっていたんだなあ、ニュースにならない、しかし重大なことが起こっているんだなあ、というようなことを強く感じました。

小沢 これだけ均質・均等になったといわれていても、私は同じ芝居をやっている、日本列島を端からずっと、毎年回っているんですが、地域差というのは確かにございますね。いろいろあるんですが、単純にいうと、どうも山の中よりは港町のほうが芝居がやりやすいっていうのは厳然たる事実です。

それをすぐに、網野先生のおっしゃる農業民と非農業民につなげるのは、あまりにもはしたないというふうには思いますけれども、でも、つなげたく

網野善彦

(日本中世史)

小沢昭一

(俳優)

市川捷護

(日本ビクタープロデューサー)

なってしまうぐらいに、漁撈民がいるんではないかと思われる地形のところのほうが、芝居に対する反応というのが強いですね。

早い話が、たとえば山形県では、県庁所在地の山形よりも酒田でやったほうが、お客さんの反応はずっと柔軟といますか、のびのびしていて、理解の度も深いというような……いや、理解の度はちょっと、とても分からないのですが、山形ですと少なくとも理解を身体で反応するということはないから、どうしてもこっちもそれにノっていけないというようなことがあります。芝居が停滞してしまいます。

僕らの仕事は、やはりお客さんとの相互作用のものですから、お客さんがノってくれると、僕らもノっていくということがあるんで……。青森県なんかでも、青森よりも八戸のほうが芝居がやりよかったですとかいうことがございますねえ。

それから、九州と東北地方とを比べ

ると、やはり九州。そうとう山の中でも九州のほうが芝居はやりいいっていうようなことで、本当に網野先生がおっしゃってくださっていることは、全部そのまま私の金科玉条といえますか(笑い)、中世の芸能民が大切に持ち歩いたという頼朝文書じゃないけれども、僕は網野文書というのをほんとに巻物にして大事にしたい(笑い)ぐらいにピタッとくるんですよ。やはり、芸能は南のものかなあっていう感じがいたしますですねえ。

網野 なるほどねえ。

小沢 だから、おっしゃるように、確かにこれだけ画一化されたといっても、ずいぶん違いはございます。

それから、関西というのがポコッとまた違うんですね。これはいまの文化の流通とも、また近代になってからの東京と大阪との関係というのともきつとあるんでしょうけれども……。いやー、関西というのは独立国なんですよ。網野 そうでしようね。



網野善彦氏

小沢 それで、全然また反応が違うと
いいですか、どこか時間も違うって
いうような気が、僕なんかはとても
思ってますね。だから、東京であつた
ものが向こうではダメだし、東京で
い芸人が向こうではダメだっていう
ようなことは、もちろんございませ
……。その点、九州と東京は非常に
良く……。

網野 それは不思議でしょうがない
ですけれどね、政治的にみても関東
九州は、なぜか仲がいいですね。

小沢 それも先生の東西文化論を、
巻物にいただいてピタッといく……
(笑)。九州と組めるところが、頼
朝でつながるかどうかは別としても、
ほんとに具合がいいんですね。

網野 実際に全国を回って芝居をして
いらっしゃる、小沢さんをはじめと
する方々のいろんな経験には、我々
には分からない微妙な問題があるて
うね。

小沢 こちらもそれをどう言ってい
か分からないんです。身体で感ずる
うなものですから、なかなかうまい
と口では言い表わせないんですが、
実際問題として確実にそれがあると
いうのは、おもしろいことだと思います。
網野 なるほどねえ。

能登の海民と説教

小沢 網野先生はつきつきと新しいこ
とをお書きくださって、今度はどんな
ことを教えていただけるかと、私はも
う、いつもわくわく楽しみにさせてい

たっているんですが、新しい史料と
いうのは、まだ発見されるものなん
ですか。

網野 たしかに、いま見えなくなって
しまっているものが、いっぱいありま
すね。たとえば私はこの五年くらい
ずっと、能登の時国家の調査に行っ
ていますが、いままでだれも知らな
古文書を、二万点くらいお蔵から見
けました。まだまだ大丈夫、旧家
蔵には、未知の文書がいっぱいあり
すから、地道に歩けば、新発見は
いくらでもできると思いますよ。

能登へ行って、非常に目を開か
たことがあります。いま奥能登を歩
くと、ご承知のように、山ぞいに上
国家と下時国家という巨大な民家
があります。これは誰が見ても豪農
と見えますし、皆そう言っているわ
けです。

ところが、二つに分かれる前の本
の時国家があった場所や規模につ
今までの調査で分かったことを泉
さんが最近論文「能登と廻船交易」
と列島文化1・日本海と北国文化、
小学館)に書いてくれたんですが、
十坪もあるものすごく大きな家
大きな蔵が四つもあります。その
家が海のすぐそばの町野川の河
言すると河原に建っているんです。

要するに時国家は、海に顔を向
家だったんですね。実際、時国家
前まで行く廻船をやっていました、
大きな船を二、三艘持っていた。こ
まで歴史家は海にあまり関心を持
いて、農業ばかり追いかけていた
ですね。しかし、見方をかえてみる

まで見えなかったことを発見でき
る。

もう一つ、非常にびっくりしたこと
がありました。これも泉さんが書いて
おられますが、研究会で議論してい
うちに分かったことで、いわば「大
持ちの水呑百姓」がいるんですね。
つまり、加賀や能登では「アタマ
(頭振)」という言葉が江戸時代の
から出てくるのですが、これは他の
域だと「水呑」と同じなんです。こ
ころが、譜代下人を何人も持ち、
何艘も持っているアタマブリが
とが、はっきり分かったわけ
です。

これは時国家の湊という地名の
ろにいる人達で、要するに商人、
人なんです。土地を持っていない
らアタマブリと言われているので
れど、実際は都市民なんです。我
が「水呑百姓」というときの印象
と、まるで実態が違うんです。

歴史のおもしろさは、そういう、
ままで分かりきったこととされて
ことを、ちょっと視点を変えて見
ると、まるで違ったものが出てく
るところにあるんですね。だからま
いろいろな見えていないことがあ
ずなので、芸能についても、そう
見えていない部分があるとはっきり
てくるとおもしろいのではないかと
……。

小沢 能登で思い出したんですけど、
先生のお書きになったものの中に、
土真宗について学者先生がわりと
タッチであったというよう……。
網野 それは民俗学者です。
小沢 ああ、民俗学者。その方々がな

ぜか……。

網野 民俗学者は、いままで、真宗
帯には民俗がないと……。

小沢 あそこは、みんな壊しちゃっ
文化を真宗一辺倒にしちゃったか
いうような指摘がございました
ね。

網野 ええ。最近では違ってきて、
郷史さんが蓮如と真宗の行事(木
という本を最近出されましたが、
期までは確実にそうだったよう
小沢 能登は浄土真宗がとて盛
所ですが、そういう点ではいかが
ございますか?

網野 それは、まだずいぶんいろ
な問題があると思いますよ。西山
がよく調べていらっしゃいますが、
真宗一色という具合にはいかに
ます。

小沢 例の浄土真宗に伝わっている
説教、非常に芸能風な説教でござ
ますが、あんなにおもしろい芸能
のをなぜいままで民俗学の先生
が扱っていないのか……。



小沢昭一氏